

平成 27 年度 事業報告書

事業開始日： 2015 年 4 月 1 日

事業完了日： 2016 年 3 月 31 日

事業の目標達成状況：

■各種大会

- ・ 全国道場少年剣道大会（日本武道館）
- ・ 第 50 回全国道場少年剣道大会は、第 50 回記念大会とし部門別個人戦を加え三日間の開催となった。瑤子女王殿下の臨席とお言葉を得て開催した。会長小坂憲次が主催者を代表として挨拶、来賓として下村博文文部科学大臣、笹川陽平日本財団会長が代表して挨拶を行った。延べ 8,072 名（監督含む）に及ぶ参加選手等が剣道を通じての錬磨向上と交流を行った。
- ・ 瑤子女王殿下の臨席を得て、大会の権威を高めた。
- ・ 各都道府県道場少年剣道大会
各都道府県道場少年剣道大会は 45 都道府県で実施、延べ 30,965 名の参加を得た。
- ・ 全国道場対抗剣道大会
全国道場対抗剣道大会では、生涯剣道を目指し開催した。個人戦は「全国道場少年剣道選手権大会」と銘打ち、小・中・男・女 4 部門の同時開催となり参加選手は 1,000 名となった。大会参加者は、延べ 40,037 名に達し、剣道普及振興発展を行った。

■講習会

- ・ 少年合宿会
少年合宿会は、49 名の参加。講師は剣道界第一人者を依頼し、剣道の正しい学び方を指導し、各県・各道場の少年リーダーを育成した。
- ・ 指導者研習会
指導者研習会では、延べ 101 名の受講者を以って講師共々少年指導技術の向上と少年剣士減少対策に付き意見の交換を図り、各道場指導者の充実を図った。秋、春の 2 回実施した。
- ・ 地区剣道道場指導者講習会
地区剣道道場指導者講習会は、関東地区（千葉県）、中国地区（広島県）で実施した。
延べ 130 名の受講者の参加を得て、少年剣道普及のため各道場等の指導の充実を図った。少年剣士確保のための指導者強化を行った。
各地区の低段者の指導力の向上に貢献。

■剣道少年団

- ・ 剣道精神の善用活動
奉仕活動などを行った少年剣士、その指導者を表彰。少年剣士 89 名、指導顧問 46 名を選考のうえ、表彰を行う。奉仕活動等、剣道精神の善用活動の推進を図る。

- ・ 全国研修会

全国研修会では、地区予選を経た小・中各 9 名代表者によって、少年少女から見た剣道とその精神の善用活動等が発表された。剣道雑誌等を通じてその内容が広く掲載され、少年剣道の関心を高めた。

- ・ 海外交流活動

剣道少年団活動一環。台湾、台北の少年剣士と交流。親善試合、合同稽古を行なう。団長・副団長 2 名、監督 2 名、事務局 3 名、団員 15 名、の 22 名をもって交流。日本の少年剣士は全国の強豪の中から勝ち上がり優勝した最強のチームであり勝率から言うと圧勝であった。今後も交流を重ねて参りたい。

■ ホームページ作成事業

- ・ 道場検索サイトの変更、追加、保守・維持管理を行い、少年少女剣士確保に貢献する。
また、全国道場少年剣道大会、全国道場対抗剣道大会のインターネット速報配信を充実させ、剣道普及に貢献する。

事業成果物：

全国道場少年剣道大会、プログラム、大会模様記録写真
各都道府県道場少年剣道大会、プログラム、大会模様記録写真
全国道場対抗剣道大会、プログラム、大会模様記録写真
全国選抜少年剣道合宿錬成会パンフレット、会場模様記録写真
剣道指導者研習会パンフレット、会場模様記録写真
地区剣道道場指導者講習会パンフレット、会場模様記録写真
剣道少年団 表彰者一覧表
全国研修会プログラム、会場模様記録写真
海外交流活動、しおり、写真他
ホームページ作成事業

事業の報告：

各事業の報告書別紙の通り。

収支計算書：

別 別紙平成 27 年度「剣道普及振興」事業収支決算報告書の通り。

以 上